

令和元年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証シート

全体の概要

古 市	小学校	児童数	78
-----	-----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	17.85	18.00	31.31	41.69	47.18	9.71	141.44	21.62	51.82
大阪市	16.40	19.40	32.70	39.96	48.15	9.41	149.30	21.44	52.53
全国	16.37	19.80	33.24	41.74	50.32	9.42	151.45	21.61	53.61
女子	17.49	18.23	37.59	39.71	37.51	9.82	134.03	12.92	54.91
大阪市	16.15	18.51	37.54	38.38	38.97	9.65	142.68	13.31	54.47
全国	16.09	18.95	37.62	40.14	40.79	9.64	145.68	13.61	55.59

結果の概要

△体力合計点は、男女とも全国平均に届かなかった。
 ◎握力は、男子で1.5kg、女子では1.4kg程全国・大阪市平均を上回った。
 ○ソフトボール投げは、男子では全国平均とほぼ同等だったものの、女子では70cm程全国平均を下回った。
 △立ち幅跳びは、男女とも全国平均を8cm程下回った。
 △50m走は、男子で0.3秒、女子で0.2秒程全国・大阪市平均を下回った。
 △上体起こし、長座体前屈は前年度同様、全国・大阪市平均を下回っているが、記録は向上しており、差も縮まっている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

体育の学習や学級でのみんな遊びなどを通して、体を動かす機会を増やしてきた。その結果、休み時間に外に出て運動する児童が多く、運動に対する意欲が高まってきたといえる。学校アンケートの「運動が好きですか」の項目に肯定的に答える児童の割合は、低学年94%、高学年85%と、80%を大きく上回った。
 また、春と秋の2回スポーツテストを実施して、自分の記録が2項目以上向上した児童は62%と、全体の5割以上を達成した。しかし、児童が自分の力の伸びをさらに実感できるような、スポーツテストの在り方を検討していく必要がある。
 今後の課題として、児童が楽しく運動に取り組むことができるよう、教員が体育用品の活用法や細かい指導法を学ぶ機会を設けることや、スポーツテストの実施時期や回数、種目を検討する必要がある。